

むささび5



じんそくけんさ
ウイルス迅速検査って
なあに？



むささび5

じんそくけんさ

ウイルス迅速検査ってなあに？

みなさんのまわりには目に見えないとても小さな

「ウイルス」というバイキンがいます。



病気を起こす悪いウイルスがからだに入り込むと、

熱が出たりくしゃみやせきが出たり、のどやおなか

が痛くなったりします。

ウイルス迅速検査ではのどや鼻水、うんちなどを

とって、ウイルスを見つけ出します。

のどや鼻に綿棒を入れる時に少し痛いかもしれない

けど、しっかり検査するためにちょっとだけがまん

してね。



さいきんけんさしつ

ほごしや

かた

細菌検査室から保護者の方へ

ウイルス迅速検査には、インフルエンザウイルス、アデノウイルス、ロタウイルスなどがあります。また、ウイルス以外ではA群溶連菌の迅速検査もあります。鼻やのどに綿棒を入れてとるぬぐい液や、便などが検査材料になります。検査にかかる時間は10～15分程度なので、外来の診察中に検査結果が分かり、適切な治療を行うことができます。ただし、感染してからの時間や検査材料の取り方で、結果が陰性になってしまう場合もあります。ウイルス感染の予防には、手洗いが有効です。ウイルスはせきやくしゃみ、おしゃべりなどで飛んだつば(飛沫)が鼻や口の粘膜に触れることによって感染します。たくさんの人が触れるような場所を触った手で鼻や口の粘膜を触ると、ウイルス感染が広がる可能性があります。感染を予防するために、お子さまと一緒にきちんと手洗いをしましょう。





東京都立小児総合
医療センター 検査科
042-300-5111